土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　二級河川二河川水系椎川支川外砂防工事に伴う全体計画書作成業務

事　業　・　工　事　名

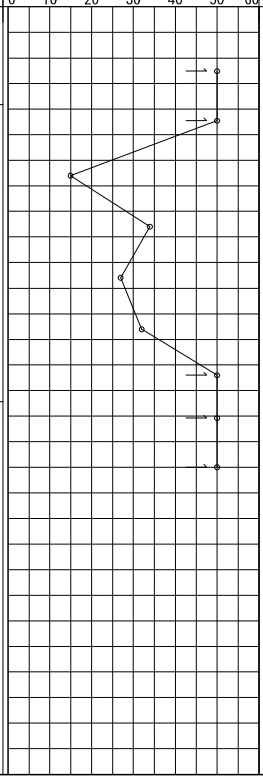
調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	R2-BK2-1	調査位置	広島県安芸郡熊野町　地内	北緯	34° 21’ 16.7426″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年 1月26日～ 令和3年 1月29日	東経	132° 35’ 05.5724″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 279.59m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 0° 270°西 90°東 180°南
総削孔長	10.00m	地盤勾配	5° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機　DO-C型 / エンジン：ヤンマー　NF-110EK型 / ポンプ：東邦地下工機　BG-3C型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	279.39	0.20		礫混り砂質土		黄灰			現世土石流堆積物 ・最上位は転石及び玉石が点在	
	278.79	0.80		シルト質砂		暗褐			渓床堆積物 ・砂は細-中粒砂、細粒分及び細礫を伴う ・腐植混じる黒褐の湿地堆積物を挟む ・砂は細-中粒砂	
1	278.29	1.30		礫混り砂質土		暗褐	rd5		扇状土 ・礫はφ20mm程度以下、砂は粒径幅広く細粒分を伴う	1/29 1.91
2										
3									土石流堆積物(完新世新期扇状堆積物) ・玉石は確認石長L=10cm程度が混入 ・礫はφ20-50mm程度の中-粗礫 ・基質は細粒分を伴う粒度不均一な砂質土	
4				玉石混り砂礫		黄褐	rd3			
5										
6	272.89	6.70								
7				花崗岩		淡灰			中粒角閃石黒雲母花崗閃緑岩強風化岩(DH) ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存 ・採取試料は土柱状を呈すが脆く、指圧で凹むうえ、容易に圧潰される	2/ 1 7.72
8										
9	270.59	9.00		花崗岩		淡灰			中粒角閃石黒雲母花崗閃緑岩弱風化岩(CL) ・岩相不均質、濃緑色の角閃石がやや目立つ中粒角閃石黒雲母花崗閃緑岩 ・岩質はやや軟質化するも、節理の分布を明瞭に認める ・採取試料は短柱-岩片状を呈し、節理は水平状が主体 ・場所的に岩片は硬質でCM級程度の風化核が残留	
10	269.59	10.00								
11										
12										
13										
14										
15										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
50以上	1.15	3	37	10	50/10	210	
	1.36						
50以上	2.15	5	45		50/50	150	
	2.30						
15	3.15	3	5	7	15/300		
	3.45						
34	4.15	13	10	11	34/300		
	4.45						
27	5.15	7	11	9	27/300		
	5.45						
32	6.15	16	7	9	32/300		
	6.45						
50以上	7.15	50			50/100	100	
	7.25						
50以上	8.00	50			50/80	80	
	8.08	80					
50以上	9.00	貫入不能			50/0	0	

試料採取

深度(m)	試料番号	採取方法

室内試験

削孔月日
1/27
1/28
1/29